

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：こどもデイサービスウルル

集計人数：8名

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	0	
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	今後やる必要がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	毎日スケジュール表を作成し、共有する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	参加できない者もあり、連絡ノートを共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1	0	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	0	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	0	0	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	0	
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	0	開所後期間が短いので、該当する子どもが少ない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	0	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	0	地域に参加できる会が少ない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	0	0	講演会形式で実施しているが、少人数で実施する方が良いのではないかと思う。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	6	0	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	0	近隣の方の理解を得るのが難しい。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	身体拘束を必要とする子どもはいない。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	8	0	事例集はないが、口頭での説明はある。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

事業所名：こどもデイサービスウルル

集計人数：25名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	2	0	他事業所より多いと思う。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	5	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	23	2	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	6	2	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	3	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	4	0	電話をすると親身になって相談に応じてくれる。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	12	0	親同士のつながりは少ないと思う。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	3	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	時々会報があり、子どもの様子もよくわかる。送迎時に伝えて頂ける。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	0	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	1	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2 3	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2 3	2	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	2 4	1	0	毎回、楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	2 4	1	0	適切に丁寧に支援して下さるので、安心している。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービスガイドラインに基づいた自己評価等の公表について

1 評価表実施期間

平成31年3月1日～3月20日

保護者 配布25名 未回答0人

職員 配布8名 未回答0人

2 現在の取り組み改善目標等

- (1) 子どもの発達段階を客観的に捉え、一人ひとりに向き合った支援が提供できるように取り組んできました。
毎日のスケジュール確認時には、絵と文字で流れを表示し、確認ができるよう働きかけを行っています。職員は写真でわかるように表示し、子どもの個々の棚は、わかりやすいようなシールやなまえで明記しました。
低鉄棒、平均台、カラーマット、砂場を設置してニーズにあわせた支援ができるよう改善しました。
- (2) 発達障害の理解のために、発達障害への対応、子どもの人権、性教育等の学習会に参加しました。
2019年4月から従業員の処遇改善加算の手続きをしました。
- (3) 送迎車不足により、軽自動車2台を追加しました。
- (4) 地域社会との交流はできにくく、今後は放課後児童クラブ等との交流会や社会体験の機会を増やし、自立へ向けた療育活動を実施していきたいと考えています。
- (5) 日々の活動の様子はサポート通信やホームページで発信させていただいておりますが、ご家庭でのお悩み等情報共有を図るため、ペアレントトレーニング講習会の実施をしていきたいと考えています。また、今までの取り組みとしては言葉で上手く伝えられない子供のために「お話しタイム」の時間を設け、個々に5分～10分時間をとって、向き合うことを実施しています。
- (6) 緊急時等における対応方法、非常災害対策等については、津波対策のことを含め、保護者へ説明する機会を設けていきたいと考えています。
- (7) 保護者向けアンケート及び職員アンケートを活用し、今後の業務改善に向けて活用していきたいです。アンケートの結果等はホームページ等で公表しています。今後第三者による外部評価もしていきたいと考えています。資質向上のための職員研修は、年3回実施しましたが、今後も実施していきます。